

株式会社ダイフク <6383>

平成 31 年 3 月期 第 1 四半期

(平成 30 年 4 月 1 日～平成 30 年 6 月 30 日)

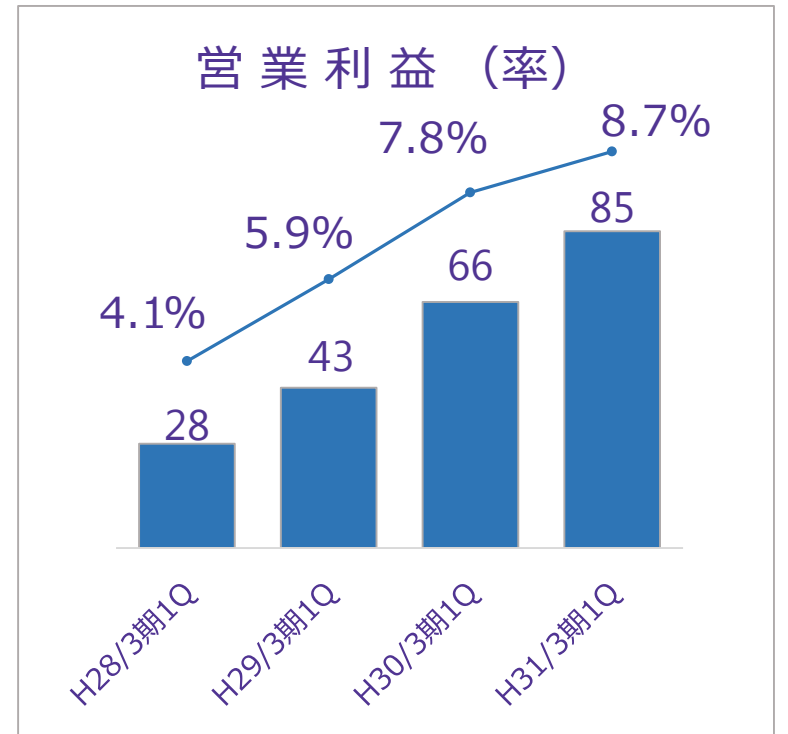
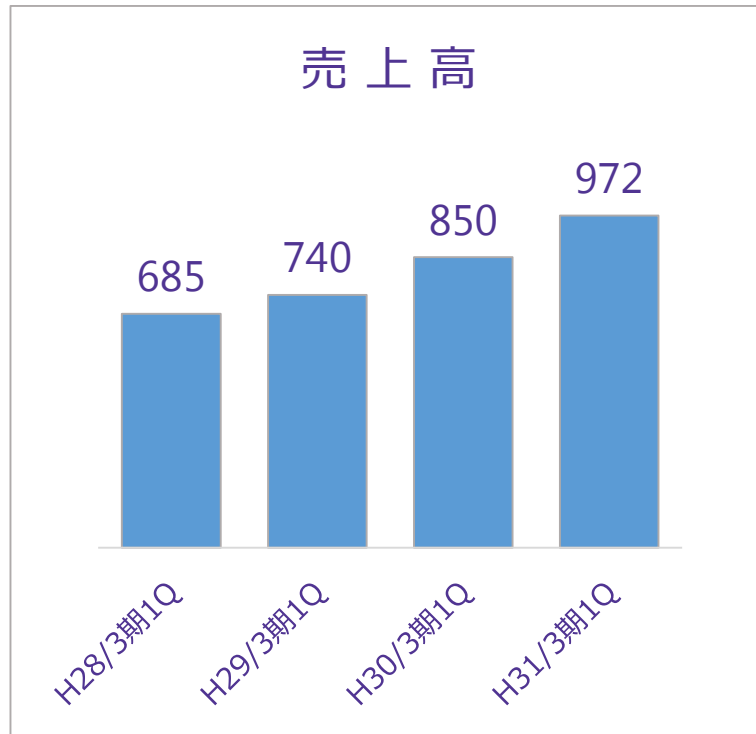
## 決算説明資料

2018 年 8 月 8 日



- ✓ 受注高：国内外の大型案件の受注により高水準
- ✓ 売上高：豊富な受注残をベースに順調に推移
- ✓ 営業利益：単体の増収・収益力向上、東アジアの現地法人が貢献し、利益率は大幅向上

(億円)



# 平成31年3月期第1四半期業績（連結）

(億円)

	平成30/3期1Q	平成31/3期1Q 実績	対前年 同期比
受注高	1,485.7	<b>1,291.7</b>	▲13.1%
売上高	850.6	<b>972.7</b>	+14.4%
営業利益	66.6	<b>85.0</b>	+27.7%
経常利益	70.2	<b>89.7</b>	+27.8%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	50.2	<b>112.2</b>	+123.2%
包括利益	53.9	<b>68.7</b>	+27.5%
1株当たり四半期純利益	41.30円	<b>89.24円</b>	
為替レート（1US\$当たり）	112.82円	<b>107.50円</b>	

✓ 営業利益、経常利益は前年比約30%増益

✓ 特別利益として持分法適用関連会社Knapp社株式の売却益69億円を計上

(億円)

	受注高 (外部顧客への受注高)		売上高 (外部顧客への売上高)		セグメント利益 (親会社株主に帰属する四半期純利益)	
	平成30/3期1Q	平成31/3期1Q	平成30/3期1Q	平成31/3期1Q	平成30/3期1Q	平成31/3期1Q
ダイフク	698.8	<b>624.9</b>	385.2	<b>432.9</b>	41.6	<b>107.6</b>
コンテック	32.2	<b>40.2</b>	35.5	<b>36.8</b>	1.3	<b>1.9</b>
DNAHC <sup>※1</sup>	388.7	<b>202.8</b>	210.2	<b>199.8</b>	4.5	<b>7.6</b>
DPM <sup>※2</sup>	35.4	<b>29.1</b>	24.9	<b>26.5</b>	▲0.1	<b>▲0.06</b>
その他	330.4	<b>394.4</b>	174.3	<b>283.4</b>	3.6	<b>17.7</b>
連結調整等	-	-	20.2	<b>▲6.8</b>	▲0.8	<b>▲22.7</b>
合計 (調整後)	1,485.7	<b>1,291.7</b>	850.6	<b>972.7</b>	50.2	<b>112.2</b>

✓ ダイフク：収益改善、特別利益計上により、大幅増益

✓ DNAHC：受注遅れが影響するも、2Q以降については回復見込み

✓ その他：東アジアの半導体・液晶業界向けの売上増大により大幅増益

※1 DNAHC = Daifuku North America Holding Company

※2 DPM = 株式会社ダイフクプラスモア

(億円)

	平成30年 3月期期末	平成31年 3月期1Q	増減額
流動資産	2,860.8	<b>2,927.4</b>	66.6
現金及び預金	851.6	<b>1,012.9</b>	161.3
売上債権	1,631.0	<b>1,491.9</b>	▲ 139.0
たな卸資産	270.3	<b>330.3</b>	59.9
その他	107.8	<b>92.2</b>	▲ 15.6
固定資産	869.2	<b>791.3</b>	▲ 77.9
有形固定資産	352.5	<b>343.4</b>	▲ 9.0
無形固定資産	140.3	<b>131.7</b>	▲ 8.6
のれん	87.9	<b>81.0</b>	▲ 6.8
その他	52.4	<b>50.6</b>	▲ 1.7
投資その他の資産	376.3	<b>316.0</b>	▲ 60.2
資産合計	3,730.1	<b>3,718.7</b>	▲ 11.3

	平成30年 3月期期末	平成31年 3月期1Q	増減額
流動負債	1,487.8	<b>1,469.1</b>	▲ 18.7
仕入債務	692.7	<b>676.4</b>	▲ 16.3
短期借入金・社債	199.6	<b>183.2</b>	▲ 16.4
その他	595.4	<b>609.4</b>	13.9
固定負債	327.4	<b>323.2</b>	▲ 4.2
長期借入金・社債	180.0	<b>180.0</b>	-
その他	147.4	<b>143.2</b>	▲ 4.2
負債合計	1,815.3	<b>1,792.3</b>	▲ 23.0
株主資本	1,814.5	<b>1,870.2</b>	55.6
資本金	318.6	<b>318.6</b>	-
利益剰余金	1,296.5	<b>1,352.1</b>	55.6
その他	199.3	<b>199.3</b>	0.0
その他の包括利益累計額	64.2	<b>20.9</b>	▲ 43.2
非支配株主持分	35.9	<b>35.2</b>	▲ 0.7
純資産合計	1,914.7	<b>1,926.4</b>	11.6
負債純資産合計	3,730.1	<b>3,718.7</b>	▲ 11.3

✓ 総資産：11億円減少  
(主な要因)  
現金及び預金が増加した一方、受取手形、完成工事未収入金、関連会社株式が減少

✓ 負債：23億円減少  
(主な要因)  
仕入債務、未払法人税等が減少

✓ 純資産：11億円増加  
(主な要因)  
利益剰余金55億円増加

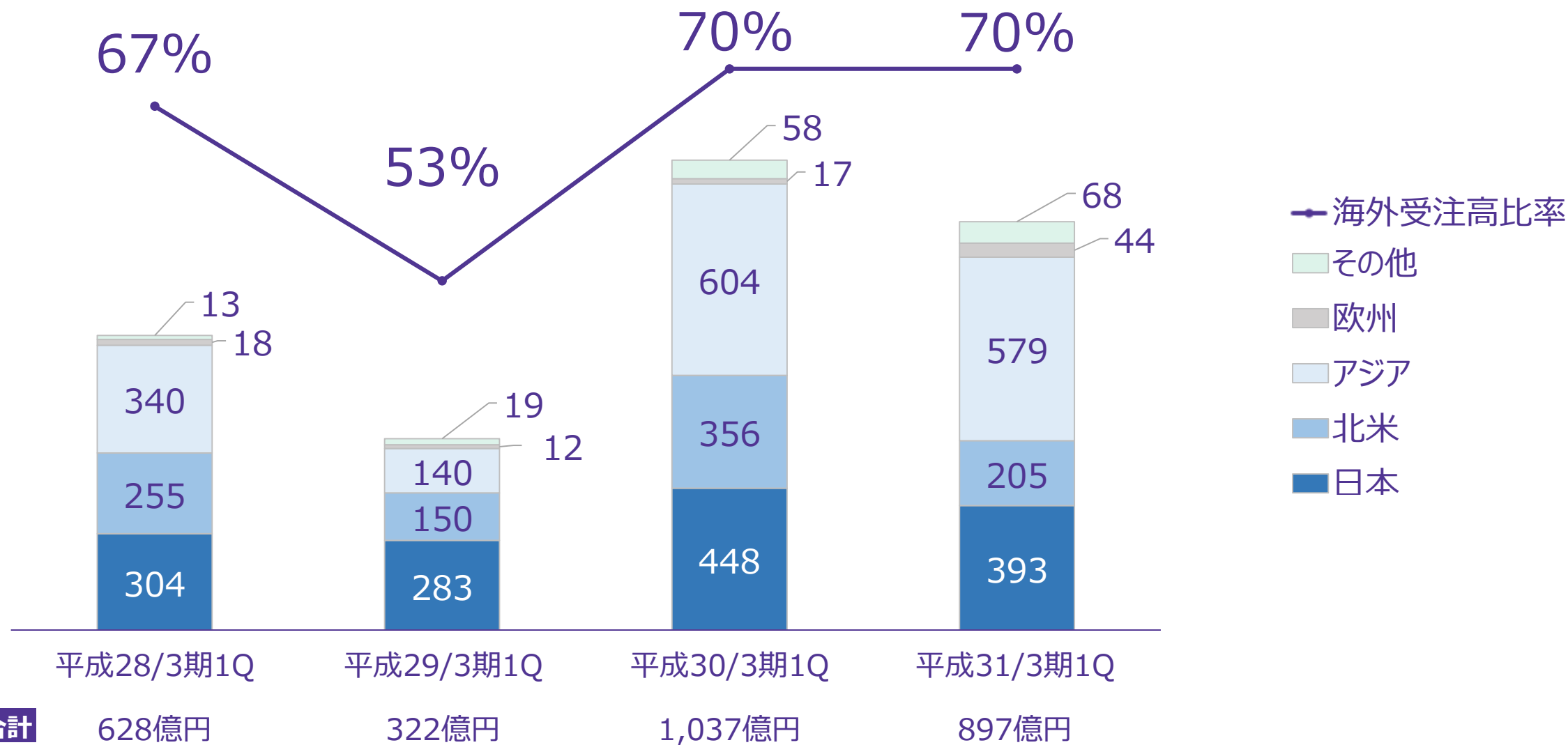
(億円)

業種	受注高				売上高			
	平成30/3期1Q		平成31/3期1Q		平成30/3期1Q		平成31/3期1Q	
	受注高	構成比	受注高	構成比	売上高	構成比	売上高	構成比
自動車および自動車部品	173.9	11.7%	<b>192.5</b>	<b>14.9%</b>	146.8	17.3%	<b>141.9</b>	<b>14.6%</b>
エレクトロニクス	653.4	44.0%	<b>573.1</b>	<b>44.4%</b>	321.6	37.8%	<b>416.7</b>	<b>42.8%</b>
商業および小売業	227.1	15.3%	<b>246.4</b>	<b>19.1%</b>	152.7	18.0%	<b>138.1</b>	<b>14.2%</b>
運輸・倉庫	39.2	2.6%	<b>74.1</b>	<b>5.7%</b>	50.3	5.9%	<b>56.6</b>	<b>5.8%</b>
機械	16.7	1.1%	<b>21.3</b>	<b>1.7%</b>	11.4	1.3%	<b>15.7</b>	<b>1.6%</b>
化学・薬品	33.8	2.3%	<b>43.7</b>	<b>3.4%</b>	33.6	4.0%	<b>32.9</b>	<b>3.4%</b>
食品	21.1	1.4%	<b>21.0</b>	<b>1.6%</b>	28.3	3.3%	<b>27.1</b>	<b>2.8%</b>
鉄鋼・非鉄金属	12.8	0.9%	<b>15.9</b>	<b>1.2%</b>	5.8	0.7%	<b>8.3</b>	<b>0.9%</b>
精密機器・印刷・事務機	27.8	1.9%	<b>28.9</b>	<b>2.2%</b>	10.5	1.2%	<b>14.9</b>	<b>1.5%</b>
空港	131.6	8.9%	<b>30.9</b>	<b>2.4%</b>	68.5	8.1%	<b>70.2</b>	<b>7.2%</b>
その他	147.7	9.9%	<b>43.4</b>	<b>3.4%</b>	20.6	2.4%	<b>49.8</b>	<b>5.2%</b>
合計	1,485.7	100.0%	<b>1,291.7</b>	<b>100.0%</b>	850.6	100.0%	<b>972.7</b>	<b>100.0%</b>

✓ 受注高：エレクトロニクスは高水準を維持。空港は、米国で2Q以降回復の見込み

✓ 売上高：エレクトロニクスがけん引、それ以外も堅調に推移。

(億円)



海外合計

(億円)

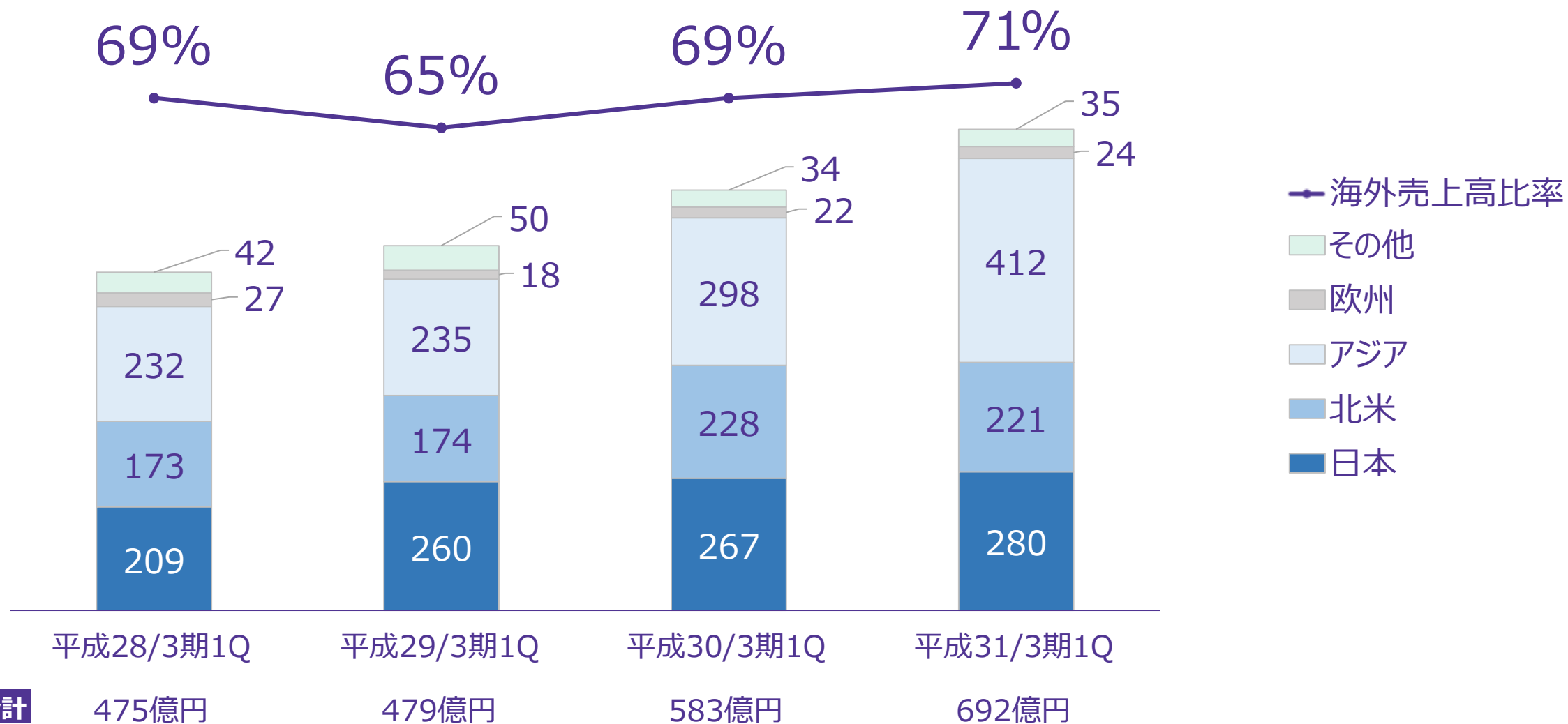
地域	国名	平成28/3期1Q		平成29/3期1Q		平成30/3期1Q		平成31/3期1Q	
		受注高	構成比	受注高	構成比	受注高	構成比	受注高	構成比
日本		304.2	32.6%	283.8	46.8%	448.6	30.2%	<b>393.8</b>	<b>30.5%</b>
海外		628.4	67.4%	322.8	53.2%	1,037.0	69.8%	<b>897.8</b>	<b>69.5%</b>
	北米	255.9	27.5%	150.7	24.8%	356.7	24.0%	<b>205.6</b>	<b>15.9%</b>
	アジア	340.9	36.5%	140.1	23.1%	604.1	40.7%	<b>579.3</b>	<b>44.9%</b>
	中国	136.4	14.6%	44.0	7.3%	341.5	23.0%	<b>253.1</b>	<b>19.6%</b>
	韓国	109.2	11.7%	35.3	5.8%	190.3	12.8%	<b>201.4</b>	<b>15.6%</b>
	台湾	64.7	6.9%	39.2	6.5%	51.6	3.5%	<b>83.4</b>	<b>6.5%</b>
	その他	30.5	3.3%	21.4	3.5%	20.5	1.4%	<b>41.3</b>	<b>3.2%</b>
	欧州	18.4	2.0%	12.4	2.1%	17.6	1.2%	<b>44.1</b>	<b>3.4%</b>
	中南米	4.4	0.5%	▲0.2	0.0%	19.8	1.3%	<b>51.1</b>	<b>4.0%</b>
	その他	8.5	0.9%	19.7	3.2%	38.6	2.6%	<b>17.5</b>	<b>1.3%</b>
合計		932.7	100.0%	606.6	100.0%	1,485.7	100.0%	<b>1,291.7</b>	<b>100.0%</b>

✓ 日本・中国・米国で、昨年ほど大型案件が集中せず

✓ 全体では高水準を維持



(億円)



海外合計

(億円)

地域	国名	平成28/3期1Q		平成29/3期1Q		平成30/3期1Q		平成31/3期1Q	
		売上高	構成比	売上高	構成比	売上高	構成比	売上高	構成比
日本		209.6	30.6%	260.3	35.2%	267.4	31.4%	<b>280.1</b>	<b>28.8%</b>
海外		475.6	69.4%	479.9	64.8%	583.1	68.6%	<b>692.6</b>	<b>71.2%</b>
	北米	173.1	25.3%	174.5	23.6%	228.1	26.8%	<b>221.1</b>	<b>22.7%</b>
	アジア	232.9	34.0%	235.6	31.8%	298.2	35.1%	<b>412.0</b>	<b>42.4%</b>
	中国	63.8	9.3%	70.9	9.6%	110.9	13.1%	<b>227.9</b>	<b>23.4%</b>
	韓国	87.8	12.8%	72.8	9.8%	121.7	14.3%	<b>132.1</b>	<b>13.6%</b>
	台湾	56.8	8.3%	64.3	8.7%	42.4	5.0%	<b>14.4</b>	<b>1.5%</b>
	その他	24.3	3.6%	27.4	3.7%	23.1	2.7%	<b>37.4</b>	<b>3.9%</b>
	欧州	27.4	4.0%	18.9	2.6%	22.4	2.6%	<b>24.0</b>	<b>2.5%</b>
	中南米	9.7	1.4%	7.3	1.0%	11.4	1.3%	<b>14.0</b>	<b>1.4%</b>
	その他	32.4	4.7%	43.4	5.8%	22.9	2.8%	<b>21.2</b>	<b>2.2%</b>
合計		685.3	100.0%	740.3	100.0%	850.6	100.0%	<b>972.7</b>	<b>100%</b>

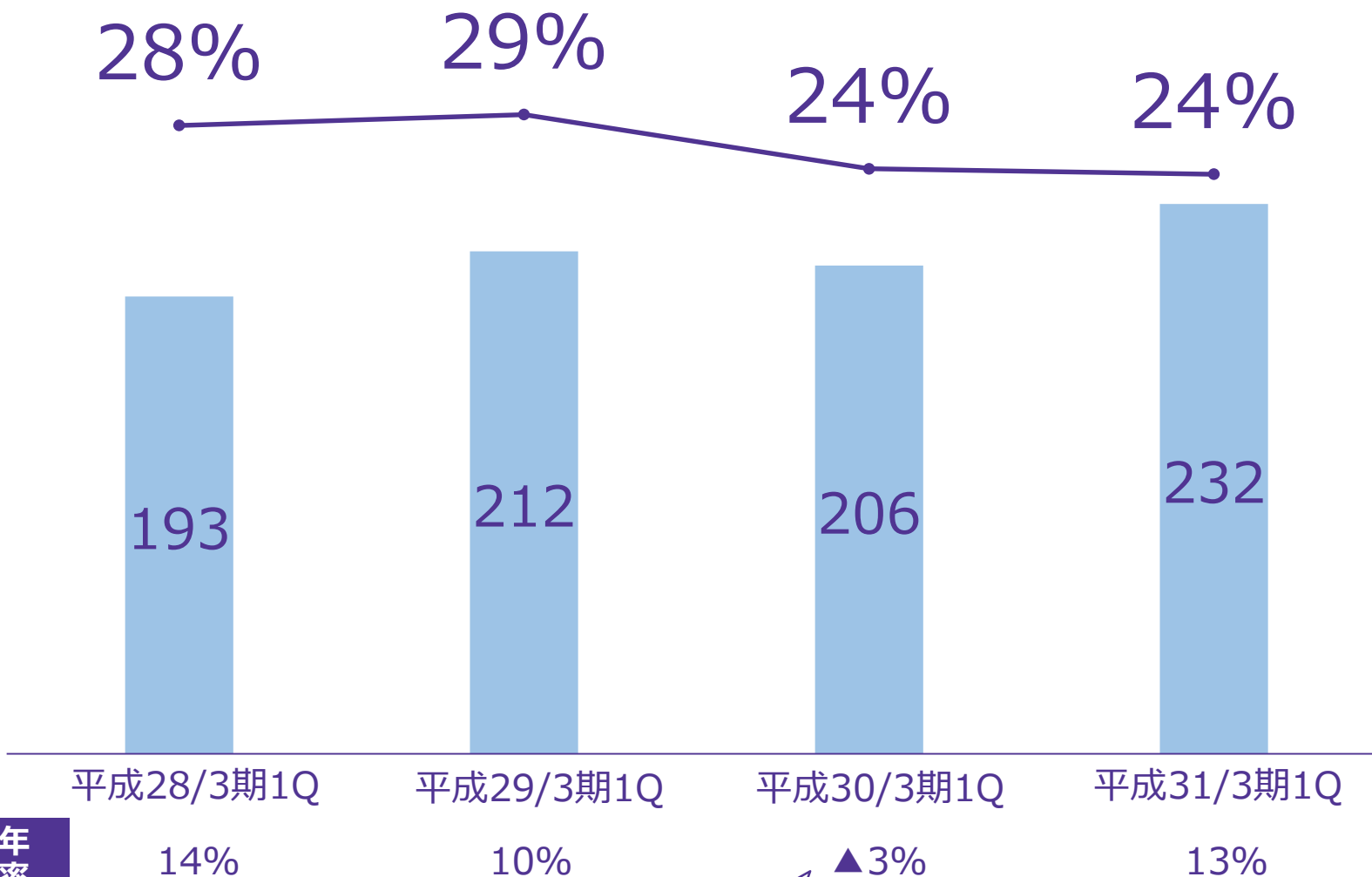
✓ 海外売上高比率が70%を超える

✓ 日本・北米は堅調に推移

✓ 中国は前年同期比で倍増

(億円)

(対売上高比率)



✓ 売上高および対前年成長率ともに成長

対前年  
成長率

円高の影響

※サービス売上高

納入したシステム・製品を対象にした、保守・メンテナンス、リニューアル、改造工事などによる売上高

# 平成31年3月期業績予想 (連結)

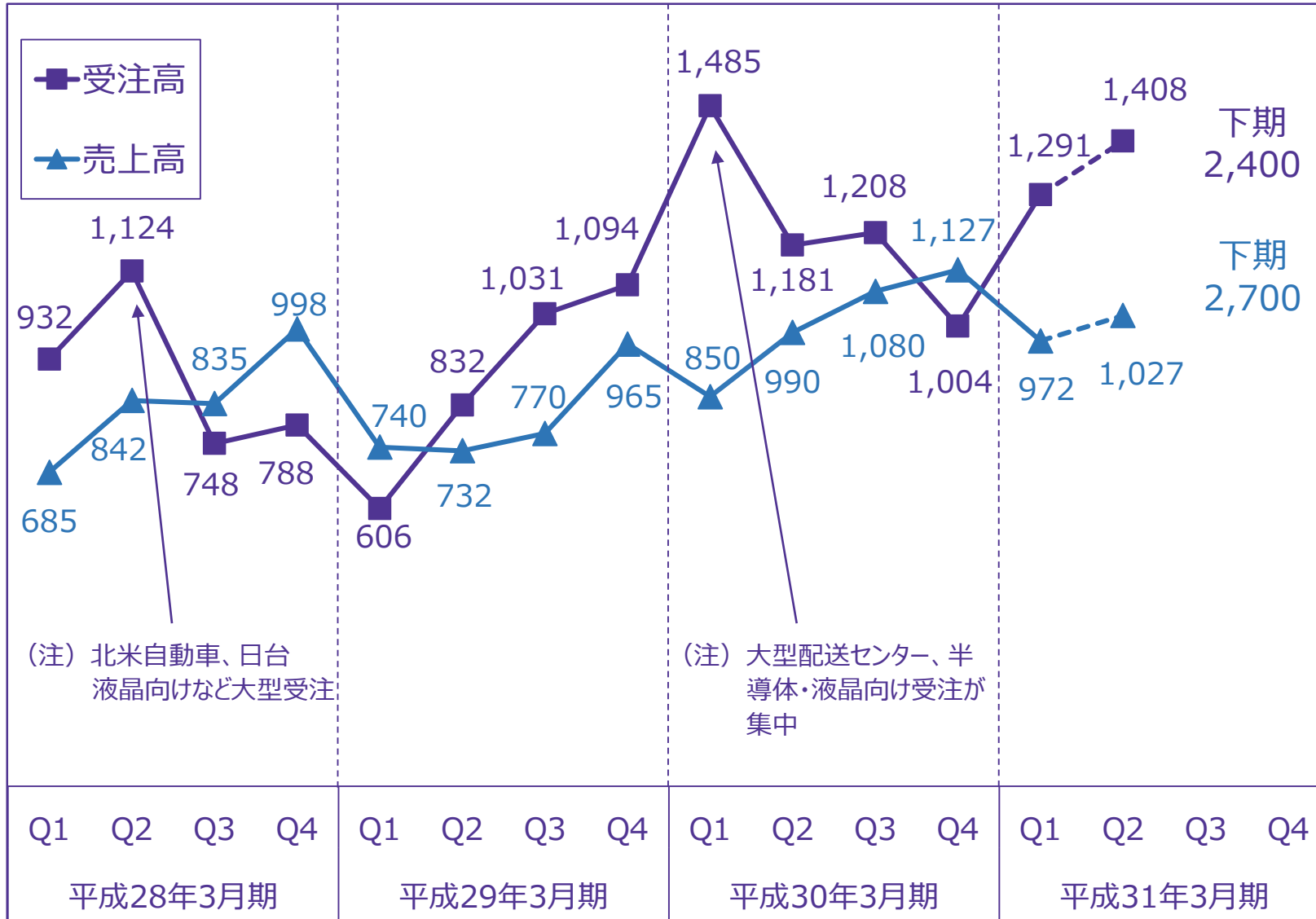
(億円)

	H30/3期 上期	H31/3期上期 (予想)			H30/3期 通期	H31/3期通期 (予想)		
		5/11 公表	8/8 修正公表	対前年 同期比		5/11 公表	8/8 修正公表	対前年 同期比
受注高	2,667.1	2,700	<b>2,700</b>	+1.2%	4,879.7	4,900	<b>5,100</b>	+4.5%
売上高	1,841.5	2,100	<b>2,000</b>	+8.6%	4,049.2	4,600	<b>4,700</b>	+16.1%
営業利益	167.1	210	<b>200</b>	+19.7%	399.2	460	<b>480</b>	+20.2%
経常利益	174.3	216	<b>205</b>	+17.6%	411.0	467	<b>487</b>	+18.5%
親会社株主に帰 属する四半期 ／当期純利益	122.3	210	<b>200</b>	+63.5%	290.0	315	<b>325</b>	+12.0%
1株当たり四半期 ／当期純利益	100.45円	166.96円	<b>159.00円</b>	-	235.62円	250.44円	<b>258.38円</b>	-

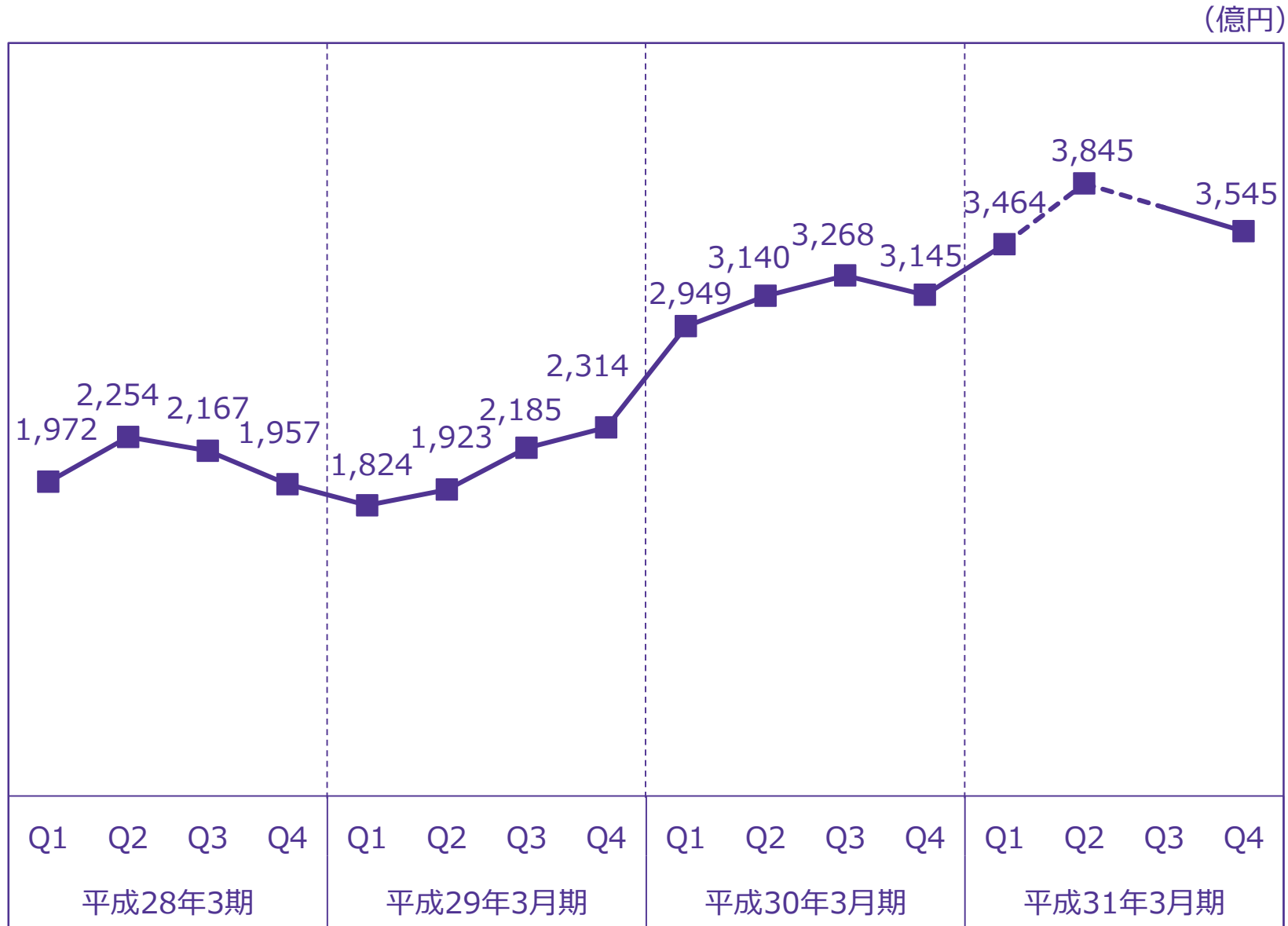
✓ 通期見通しは受注・売上・利益ともに上方修正

# 受注高、売上高の四半期ごとの推移

(億円)



- ✓ 1Q受注高は過去2番目の高水準
- ✓ 好調な受注を背景に、2Q以降の四半期ごとの売上高は1,000億円超の見込み

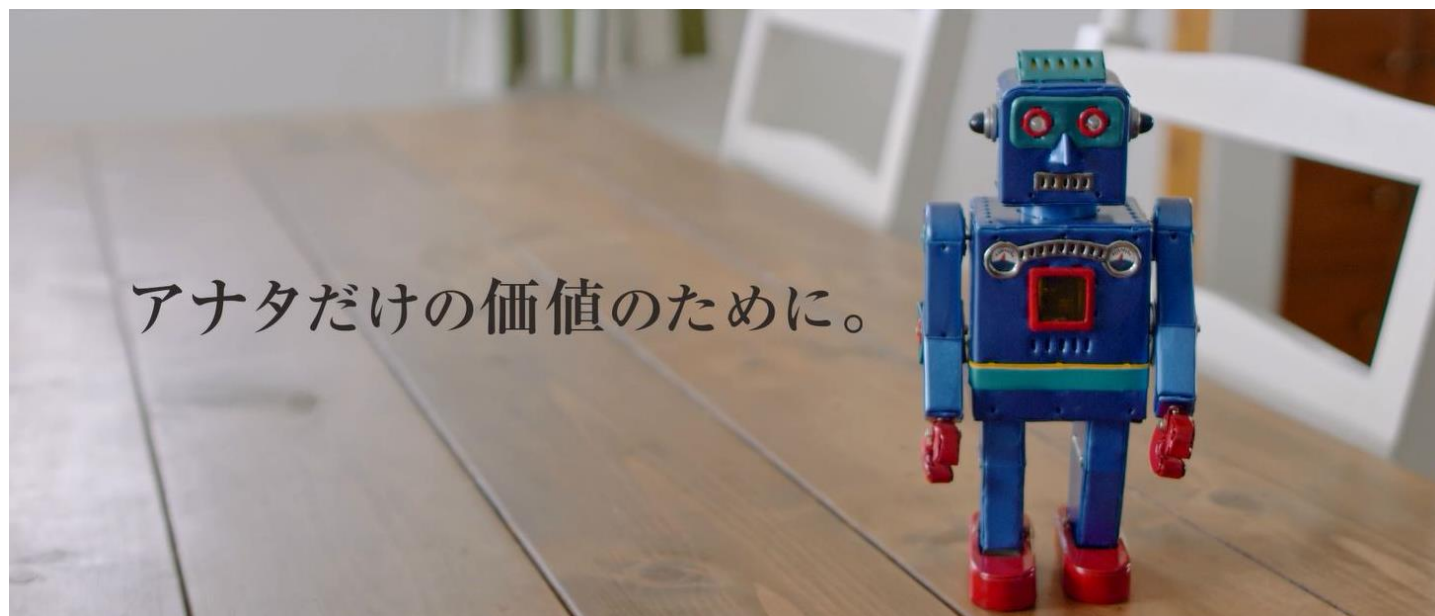


✓ 今期末受注残は3,545億円、前期末から400億円増加見込み

## 新しいブランド映像を公開

「アナタだけの価値のために。」をテーマに、インターネット通販の倉庫に保管されているブリキのおもちゃ（擬人化）が、当社の物流システムを介して、おじいちゃんとの思い出を振り返る少年の元に届くまでの物語を描いています。

日本語、英語、中国語（簡体字、繁体字）、韓国語の5言語で制作。展示会やイベントなどグローバルに活用していきます。



30秒に編集したCM映像を当社提供番組で放映中。

番組名：所さんお届けモノです！

放送局：TBS系列（全国ネット）

放送時間：毎週日曜 17:00～17:30

※映像は、当社WEBサイトでご覧いただけます。

# DAIFUKU

## Always an Edge Ahead

---

### 将来の見通しに関する注意事項

本資料に記載されている将来の業績に関する目標、信念、計画等は、過去の事実ではなく、最新の情報から判断した経営陣の想定や信念に基づく事業見通しであり、潜在的なリスクや不確定要素を含んでいます。実際の業績は、さまざまな重要要素により、記載された見通しと大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える重要要素としては、1) 当社グループの経営環境における消費者動向および経済情勢、2) 米ドルその他の通貨建ての売上・資産・負債に対する円為替レートの影響、3) コスト上昇や販売の抑制につながる安全その他に関する法令等の規制強化、4) 災害・戦争・テロ・ストライキ・疾病等の影響などが含まれます。なお、当社グループの業績に影響を与える要素は、これらに限定されるものではありません。